

令和元年度 事業報告書

令和元年4月1日から 令和元年12月31日まで

一般社団法人まがたま

1. 今年度の総括

社会的支援を目的に設立した法人の第一期。活動原資となる収益事業による母体の事業所経費をまかないながら、各支援活動の礎を築く期間となりました。

2. 事業別収支

事業	収入	支出	収益
まがたま[事業共通]	0	2,516,649	△2,516,649
貸スペース	500,779	146,099	354,680
私設私書箱[小規模事業者支援]	2,580,569	265,841	2,314,728
社会支援	693,440	905,468	△212,028
災害支援	200,000	276,840	(△76,840)
農業支援	0	36,789	(△36,789)
動物愛護	420,190	450,919	(△30,729)
視覚障害者	0	0	(0)
地域文化	73,250	140,920	(△67,670)
合計	3,774,788	3,834,057	△59,269

3. 各事業の概要

まがたま[事業所共通]

各事業にかかる共通の運営費を管理。家賃経費が固定的に多く見られるが、今年度は初年度にかかる周知活動経費もかかったものと考えられる。

貸スペース

使用者の開拓と利用状況の把握のため、事業収入はこれからが見込まれる。

私設私書箱

個人事業から継続した事業で、法人化による信用に伴い安定的な収入が見込まれる。現行の収益事業のみに限らず、今後は小規模事業者支援を目的とする。

社会支援

災害支援

個人的な活動から法人化した事業。防災士資格取得による地域の防災活動を企画。災害の頻度と広域化により、費用の助成と捻出が課題。佐賀県、千葉県、長野県。

農業支援

地域や季節に応じた農業及び周知活動の支援事業。舞鶴万願寺とうがらし、京都援農隊など。収穫物の販売やイベント等で収益を検討する。

動物愛護

認定NPO団体アークの支援を基本として、年次の里親会を開催など、周知の活動を含む、今後の取り巻く環境を意識した事業活動。

視覚障害者

今期は活動に至らなかったが、点字の習得講習や点字プリンターによる地域社会の点字普及支援を取り組むべき事業とする。

地域文化

地元や地方にて催される文化維持や非営利団体の活動支援を目的とする支援事業。継続支援としてビッグイシュー基金やみんなの玉手箱（東成区）、伊弉諾神宮の三大神楽祭など。そのほか臨時的に企画される地域の非営利催事の支援。

4. 活動実績

2019年	事項	場所	項目
4月3日	真備の保育園に「こいのぼり」をお届け	岡山県真備	災害支援
4月21日	りんご農園で花摘み	長野県飯田	農業支援
4月29日	Team 桃太郎協力で「舎廊房」にこいのぼり	岡山県真備	災害支援
5月4日	アーク里親会	事務所	動物愛護
5月7日	防災士 資格取得	事務所	災害支援
5月12日	アーク同窓会	兵庫県篠山	動物愛護
5月19日	茶摘支援	京都府城陽	農業支援
5月26日	茶摘支援	京都府城陽	農業支援
6月6日	ビッグイシュー企業サポーター	BIG ISSUE	地域支援
7月21日	アーク見学会	能勢・篠山	動物愛護
8月10日	万願寺まつり	事務所	農業支援
8月12日	アーク草刈り	篠山	動物愛護
8月14日	アーク草刈り	篠山	動物愛護
9月1日	薬に頼らない体づくりのコツ	事務所	地域支援
9月6-8日	九州北部大雨災害支援	佐賀県大町	災害支援
9月14日	台風15号災害支援[千葉県]	千葉県鴨川	災害支援
9月23日	三大神話祭 伊弉諾神宮	淡路島	地域支援
10月16日	岡山県産のぶどう頒布会	事務所	農業支援
10月19日	アーク里親会	事務所	動物愛護
10月19-20日	台風19号災害支援	長野市豊野	災害支援
10月26-27日	台風19号災害支援	長野市長沼	災害支援
10月27日	イギリスを音で感じよう	事務所	地域支援
11月2-4日	台風19号災害支援	長野市長沼	災害支援
11月3日	みんなの玉手箱～食と癒しで紡ぐ笑顔～	事務所	地域支援
11月4日	プロフィール写真撮影会 モデル・タレント	事務所	地域支援
11月9日	台風19号災害支援	長野市長沼	災害支援
11月10日	アーク BBQ	篠山	動物愛護
11月16-17日	台風19号災害支援	長野市赤沼	災害支援
11月23日	台風19号災害支援	長野市赤沼	災害支援
11月24日	ふるるファーム クリスマス飾付	舞鶴	農業支援
11月30日	台風19号災害支援	長野市津野	災害支援
12月22日	ホームレスクリスマスパーティ2019	中央公会堂	地域支援

5. 今後の事業計画

まがたま[事業所共通]

収益事業に頼らない非営利組織を目標に、寄付金取得及び助成金申請を計画的に行うことで活動資金を捻出するとともに、事業所の経費削減化を図る。

貸スペース

案内状の告知リーフレットを作成して利用者拡大と地域ネットワークに取り組む。

私設私書箱

今後は小規模事業者支援を念頭に、3年後のコワーキング事業立上げ準備を図る。早期に人材確保が望まれる。

社会支援

災害支援

その他の活動のためにこれまで短期的な活動を余儀なくしていただが、現地での長期支援に取り組むべき準備を整え、支援スキルアップの資格取得を図る。

農業支援

年間を通しての農業支援活動を計画する。収穫物の販売やイベント等で収益を検討する。

動物愛護

認定 NPO 団体アークの支援に定期的な活動に取り組む。定期的な見学会や里親会を通して支援者を募り、団体の下支えを強化する。

視覚障害者

地域社会の点字普及支援に取り組む。

地域文化

年間行事毎に協賛して、地元や地方文化維持や非営利団体の活動支援を強化する。継続支援活動を増加させる。助成金申請の協力など企画される地域の非営利催事を支援。